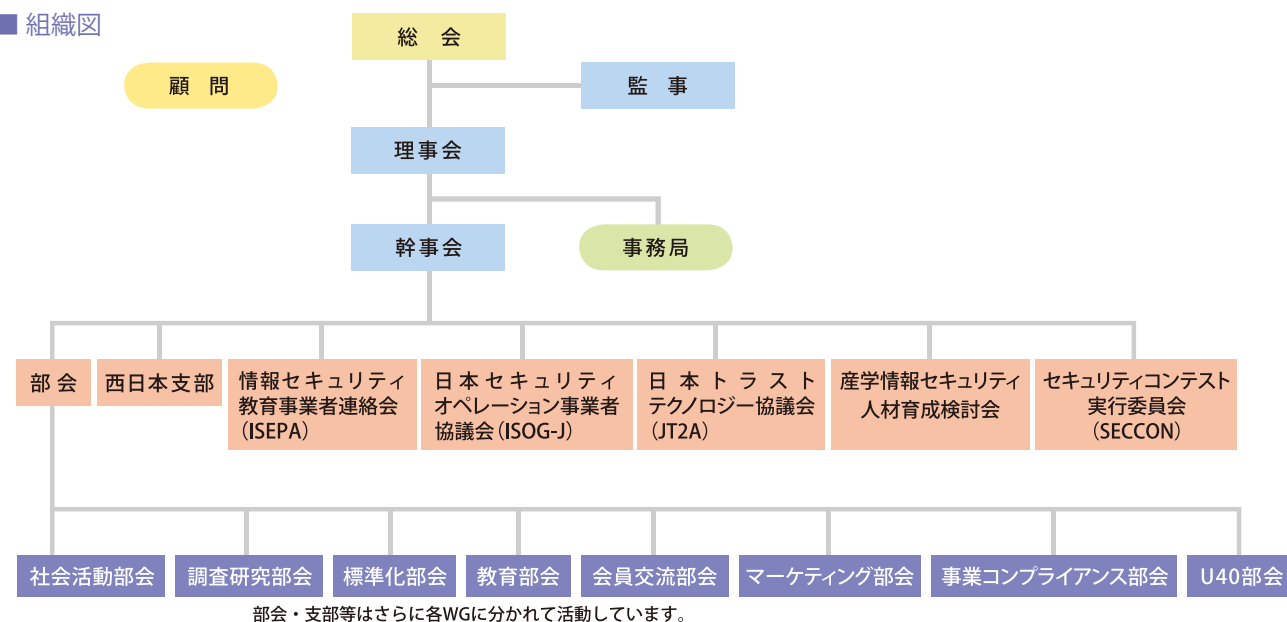


■ 組織図



■ 設立

- 2000年 4月 任意団体として設立
- 2001年 7月 特定非営利活動法人 (NPO) 法人格を取得
- 2003年 10月 情報化促進貢献企業等表彰「経済産業大臣表彰」受賞
- 2008年 2月 「情報セキュリティの日」功労者表彰受賞

■ 2019年度JNSA役員

会長	顧問
田中 英彦 (情報セキュリティ大学院大学 名誉教授 東京大学 名誉教授)	井上 陽一 (日本エレクトロセンサデバイス株式会社) 今井 秀樹 (東京大学 名誉教授)
副会長	金子 啓子 (大阪経済大学 経営学部)
高橋 正和 (株式会社Preferred Networks)	佐々木 良一 (東京電機大学総合研究所特命教授 サイバーセキュリティ研究所所長)
中尾 康二 (国立研究開発法人情報通信研究機構)	武藤 佳恭 (慶應義塾大学 教授)
監事	手塚 悟 (慶應義塾大学 環境情報学部 教授)
土井 充 (公認会計士土井充事務所)	前川 徹 (東京通信大学情報マネジメント学部 学部長 教授)
事務局長	森山 裕紀子 (早稲田リーガルコモンズ法律事務所 弁護士)
下村 正洋	大和 敏彦 (株式会社アイティアイ)
	吉田 真 (東京大学 名誉教授)

■ JNSA入会について 年会費24万円/1口

会員特典

- 各部会・WG・勉強会への参加
- 人的ネットワーク拡大の機会提供
- 調査研究プロジェクトへの参画
- 「JNSAソリューションガイド」(製品・サービス紹介サイト)への情報登録
- 会報「JNSA Press」および発行書籍・冊子などの配布
- メーリングリストおよびWebでの情報提供
- 活動成果の配布

入会方法

Webの入会申込フォームにてWebからお申し込み、または、書面の入会申込書をFAX・郵送にてお送りください。
折り返し事務局より入会に関するご連絡をいたします。

入会にあたって

- 会員は次に掲げる条件を備えなければなりません。
- ネットワークセキュリティの重要性を理解し、ネットワークセキュリティの設定基準の策定、技術に関する研究調査、啓発等、この法人の事業について貢献する意志を有すること。
 - クラッキングその他のネットワークセキュリティを脅かす行為、またはそのおそれのある行為を自ら行い、またはかかる活動を行う第三者を支援、援助等したことがないこと。
 - この法人またはこの法人と類似する目的を有する団体から除名などの不利益処分を受けたことがないこと。

JNSA (NPO日本ネットワークセキュリティ協会) 事務局

〒105-0003 東京都港区西新橋1-22-12 JCビル4F TEL : 03-3519-6440 FAX : 03-3519-6441
E-Mail : sec@jnsa.org URL : <https://www.jnsa.org/>

西日本支部

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル (株)ディアティ内 TEL : 06-6886-5540



Japan Network Security Association



特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会

<https://www.jnsa.org/>

■ 今後の情報社会とJNSA

会長 田中英彦 (情報セキュリティ大学院大学 名誉教授 | 東京大学 名誉教授)



情報セキュリティは、従来、その重要性が様々なところで語られて参りました。また、各社では様々な施策が講じられ、様々なセキュリティ製品も開発されて参りました。それに伴って、一見、対策は十分なされてきたようにみえます。

しかしながら、情報セキュリティ対策と脅威は追っかけっこの様相を呈しておりますし、人間のやることですので、浜の真砂と同様、情報セキュリティに完成は無いようにも思います。

昨今、公的機関からの情報漏洩、グローバル企業からの大規模漏洩などもマスコミの話題になりましたが、それらを見ると情報セキュリティを護る基本がまだまだ常識にはなっていないように思います。殆どのシステムは安全であると言っても、一か所でも不十分であればそこが弱点になりますし、グローバル企業は各国での文化や遣り方に応じた対策も必要です。

また、最近、情報セキュリティはグローバル問題であるとともに、社会問題であるという側面が強く出て参りました。セキュリティへの攻撃をかける目的も、以前は興味本位から、その後、お金を取る専門家として攻撃をかける職業へと変遷し、最近では、企業のやり方が気に入らないという理由からとか、公的情報のあり方に関する信念からとか、更には国がその攻撃に参与している可能性すら出て来ています。

一方、ITが発達しFacebook等のSNSが普及するに連れ、個人に関わる情報が容易に取得できる状況になった結果、それら膨大な情報を集めて分析に使い、例えば生命保険や銀行で、その人の知らない所で個人の評価に利用することが始まっております。

これは単なるプライバシーの問題ではなく、もっと根本的な問題を内包しており、ITは便利である反面、大きな社会問題を孕んでいると考えられます。このような状況にあって、情報セキュリティを担保し情報社会を健全に発展させることは大変重要な課題で、私たちのビジネス・生活の依って立つベースであります。

JNSAは、我が国の情報セキュリティを護る企業の先駆的な集まりとして、これまで様々な活動を通じて我が国の情報セキュリティに貢献して来ました。

特に、実務的で社会に根差した活動には素晴らしいものがあり、広く使われている統計情報を提供したり、また様々なノウハウ集、対処手法などを関係者が知恵を寄せあって作る、最近課題のワークショップや勉強会、更には情報セキュリティの啓発セミナーを開催するなど、広範で活発な活動があり、今後とも社会のJNSAに対する期待は大変大きなものがあります。

私も、JNSA並びにセキュリティ業界の発展に努力致す所存ですので、是非、皆様、今後ともそれぞれの力を持ち寄り、共によりよい情報環境を作りあげようではありませんか。

■ 会員行動指針

NPO日本ネットワークセキュリティ協会は、ネットワーク社会の情報セキュリティレベルの維持・向上および日本における情報セキュリティ意識の啓発に努めるとともに、最新の情報セキュリティ技術および情報セキュリティへの脅威に関する情報提供などを行うことで、情報化社会へ貢献することを目的としております。そのため、以下の通り会員の行動指針を定め、規範とするよう努めます。会員は、この指針の遵守に努め、会の目的を共有するにふさわしい姿を目指します。

1. 自ら情報セキュリティポリシーを定め、他の手本となるような運用に努めます。
2. お客様の情報などの重要情報に関して、その取り扱い手続きを明確にし、管理するよう努めます。
3. 自ら取り扱う製品およびサービスについて、その情報セキュリティレベルの維持・向上に努めます。
4. 自ら公開するインターネットサイトおよびメール等のサーバ類について、その情報セキュリティレベルの維持・向上に努めます。
5. 情報セキュリティに関連する法規・法令等を遵守します。
6. 自らの構成員に対して、情報セキュリティポリシーおよびその実施手順について教育・訓練を繰り返し実施することに努めます。
7. クラッキングなどの不正行為を許さず、その撲滅に努めます。

セキュリティとは何か 誰がどこまで責任を持つのか 責任の保証範囲はどこまでなのか

技術だけでは問題は解決できない しかし技術の裏付けがなければ施策もできない

■ 活動内容

◆ **社会活動部会** 部長：丸山 司郎 氏 (㈱ベネッセインフォシエル)
副部長：唐沢 勇輔 氏 (Japan Digital Design ㈱)
日本社会のサイバーセキュリティへの適応を推進するため、メディア等を通じた情報発信や社会貢献活動、政府機関や海外組織との連携など、JNSAの社会的活動を推進します。
・ 海外市場開拓WG ・ JNSA CERC ・ 中小企業対策支援策検討会
・ CISO支援WG

◆ **調査研究部会** 部長：前田 典彦 氏 (㈱FFRIセキュリティ)
情報セキュリティにおける各種の調査および研究活動を行います。セキュリティ被害、情報セキュリティ市場などの統計分析事業、及び、重要度や緊急度の高いテーマに関する脅威分析、対策研究を推進します。
・ セキュリティ被害調査WG ・ IoTセキュリティWG
・ セキュリティ市場調査WG ・ 脅威を持続的に研究するWG
・ 組織で働く人間が引き起こす不正・事故対応WG
・ インシデント被害調査WG

◆ **標準化部会** 部長：中尾 康二 氏 (国立研究開発法人情報通信研究機構)
副部長：松本 泰 氏 (セコム㈱)
業種・業界・分野等の標準化・ガイドライン化などを推進します。具体的にはJNSA目線のセキュリティベースラインの提供、情報セキュリティ対策ガイドラインの策定などを進めます。国際標準との親和性の高い案件については、国際標準への提案も視野に入れて、議論を進めます。
・ デジタルアイデンティティWG ・ 電子署名WG
・ IoT機器セキュリティログ検討WG ・ 日本ISMSユーザグループ
・ PKI相互運用技術WG

◆ **教育部会** 部長：平山 敏弘 氏 (㈱アイ・ラーニング)
社会のニーズや時代の変化に適したセキュリティ人材の育成のため、必要とされる知識・技能の検討を行うと共に、実際の大学や専門学校等で評価実験を行います。
・ 情報セキュリティ教育実証WG ・ ゲーム教育WG ・ セキユ女WG

◆ **情報セキュリティ教育事業者連絡会 (ISEPA)** 代表：持田 啓司 氏 (㈱ラック)
事業者間の連携や情報交換による業界の活性化、政府機関への政策提言や実現のための事業者紹介を行います。
・ JTAG

◆ **産学情報セキュリティ人材育成検討会** 座長：江崎 浩 氏 (東京大学)
情報セキュリティ業界の魅力を感じてもらえるような就労体験の機会提供として「JNSAインターンシップ」を行います。その他、企業と学生の交流会なども企画し、セキュリティ業界の活性化を目指します。

◆ **SECCON (セキュリティコンテスト) 実行委員会** 実行委員長：花田 智洋 氏 (国立研究開発法人情報通信研究機構)
実践的情報セキュリティ人材の発掘・育成、技術の実践の場の提供を目的として、情報セキュリティをテーマに多様な競技を開催する情報セキュリティイベント (SECCON CTF) を企画・実施します。

◆ **会員交流部会** 部長：萩原 健太 氏 (グローバルセキュリティエキスパート㈱)
情報セキュリティ業界の健全な発展のために、会員向けサービスを充実させ、業界の発展に貢献する。具体的には、勉強会や会員交流会の企画、情報交換・情報発信などを行います。
・ セキュリティ理解度チェックWG ・ 経営課題検討WG
・ JNSAソリューションガイド活用WG

◆ **マーケティング部会** 部長：小屋 晋吾 氏 (ニュートラル㈱)
副部長：持田 啓司 氏 (㈱ラック)
JNSAの成果を必要としている一般企業や組織に対してのJNSAの認知度の向上と、WG成果物の普及促進を目的として活動します。

◆ **事業コンプライアンス部会** 部長：西本 逸郎 氏 (㈱ラック)
サイバーセキュリティサービスの提供者が、ネットワーク社会、サービスを楽しむお客様、そしてサービス従事者として自らを守るために、適正なセキュリティサービス事業遂行の在り方について検討します。
・ 企画WG ・ 調査WG ・ 法令リスク研究WG

◆ **西日本支部** 支部長：元持 哲郎 氏 (アイネット・システムズ㈱)
西日本に拠点を置くメンバー企業が中心となり、提携団体との協働の下、西日本のネットワーク社会におけるセキュリティレベルの維持・向上に資すると共に、IT利活用の実現・推進のため、西日本に集積する中小企業がリスクの変化に応じた機動的な対応を行うことができる機会づくりを支援します。
・ 中小企業のためのSecurity by Design WG

◆ **U40 部会** 部長：杉野 広典 氏 (NECネクサソリューションズ㈱)
若年層を対象メンバーとして、JNSAの若返り、若年層の活動活性化、幅広い人脈形成を目的として活動を行います。
・ for Rookies WG ・ 勉強会企画検討WG

◆ **日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)** 代表：武智 洋 氏 (日本電気㈱)
副代表：阿部 慎司 氏 (NTTセキュリティ・ジャパン㈱)
副代表：武井 滋紀 氏 (NTTテクノクロス㈱)
セキュリティ診断士に関する検討として、診断士 (Webアプリケーション) に必要な知識などの整理を行うと共に、一般向けセミナー、内部セミナーおよび勉強会等を適宜実施します。

◆ **日本トラストテクノロジー協議会 (JT2A)** 代表：手塚 悟 氏 (慶應義塾大学)
副代表：松本 泰 氏 (セコム㈱)
電子署名や電子証明書などを含むトラストテクノロジーに関連する事業者及び利用者が主体となり、産学官及び国内外の関連団体と連携して信頼性を担保するための技術等の検討を行い、より信頼できる電子社会の促進に寄与します。

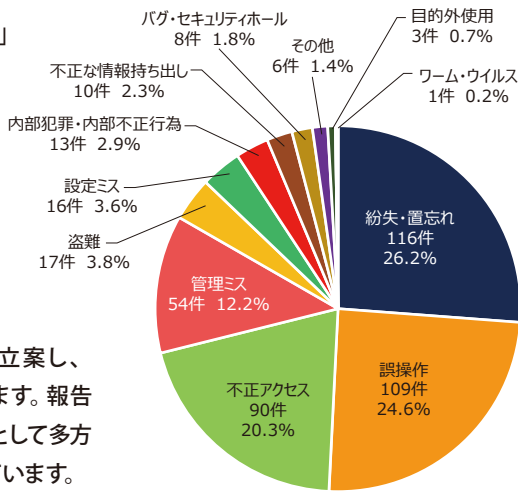
■ JNSAの主な活動

調査事業

情報セキュリティインシデントに関する調査

「個人情報漏えい編」

企業でのウイルスや不正侵入などのインシデント被害調査を毎年行っており、個人情報漏えいを起こした際の想定損害賠償額を算定するモデル式を立案し、報告書を公開しています。報告書データは参考資料として多方面に幅広く活用されています。

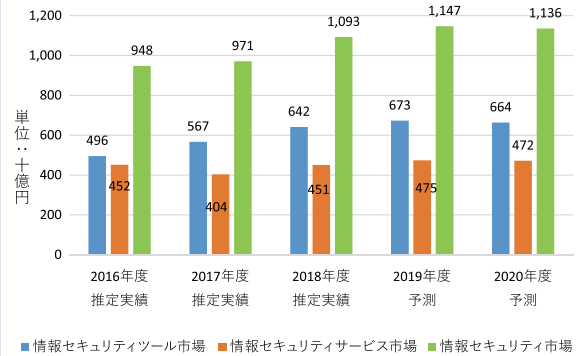


「2018年度漏えい原因比率」

情報セキュリティ市場調査

情報セキュリティに関する市場の状況ならびに規模等の調査・分析を毎年実施し、報告書として公開しています。

「国内情報セキュリティ市場規模の経年推移」

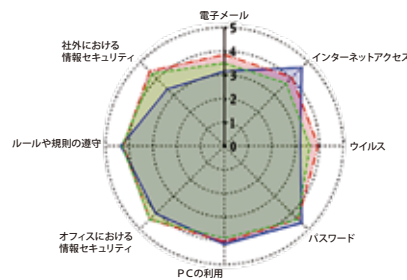


普及啓発事業

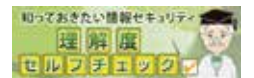
情報セキュリティ理解度チェックサイト

日本の情報セキュリティのリテラシー向上を目指し、個人ユーザー向けの「理解度セルフチェックサイト」、管理者機能つきの「情報セキュリティ理解度チェック」ならびに有償版「情報セキュリティ理解度チェック・プレミアム」サイトを提供しています。

個人のスキルアップや社内教育等での理解度チェックツールとして是非ご活用ください。



<https://slb.jnsa.org/eslb/>



<https://slb.jnsa.org/slbm/>

社会活動

セキュリティコンテスト (SECCON)

<https://www.seccon.jp/2020/>



SECCON CTFならびに初心者向け勉強会「SECCON Beginners」、女性限定ワークショップ「CTF for GIRLS」を開催予定です。2020年度SECCON CTFはオンラインのみで行います。情報セキュリティ人材の発掘・育成と国内の情報セキュリティレベルの底上げを図り活動を行います。

JNSAインターンシップ

<https://www.jnsa.org/internship/>



学生に、情報セキュリティ業界での就労体験の機会を提供するインターンシップを実施し、情報セキュリティ業界を活性化させることを目指します。また、学生と企業の意見交換と交流のための交流会イベントも開催いたします。

教育活動

情報セキュリティに関する業務に携わる人材が身につけるべき知識とスキルを体系的に整理した「セキュリティ知識分野 (SecBoK) 人材スキルマップ」の公開やゲームを通してサイバーセキュリティを学ぶ教材「セキュリティ専門家人狼 (セキユ狼)」「Malware Containment」などを制作しています。

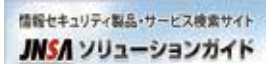
セキュリティ専門家人狼 (JIN-ROH)



JNSAソリューションガイド <https://www.jnsa.org/JNSASolutionGuide/>

セキュリティにまつわる課題解決を支援します!

JNSAの会員企業が取り扱う、ネットワーク、セキュリティ等に関する製品やサービス・セミナーなどを様々な角度から検索できます。



JNSAメールマガジン

JNSAメールマガジンは隔週金曜日発行です。連載リレーコラム、WGからのお知らせやイベント情報などです。ぜひ登録下さい。



■ その他部会成果物 (<https://www.jnsa.org/result/2020.html>)

社会活動部会

日本社会のサイバーセキュリティへの適応を推進するため、「セキュリティしんだん」やメールマガジンなどの情報発信や政府機関や海外組織との連携、メディアへの情報提供など、JNSAの社会的活動を推進しています。

- ・CISO支援WG CISOがビジネスの基本的な枠組みを整理し、明確にすべき目標と指標、そして施策を評価する判断基準を提供することを目的とした「CISOハンドブック」を公開中。
- ・海外市場開拓WG Made-in-Japanのセキュリティソリューションの海外展開・拡販を促進するために活動、RSA Conference USA 2019へのJAPAN/パビリオン出展、セキュリティ専門家人狼(セキユ狼)の英語版を作成。

調査研究部会

- ・組織で働く人間が引き起こす不正・事故対応WG 「ES向上、良い『組織文化』醸成のための企業努力」を掘り起こし、共有することを目的として実施した企業インタビュー記事を公開中。
- ・IoTセキュリティWG IoTセキュリティの指針、標準や規格などについての調査結果「IoTセキュリティ標準/ガイドラインハンドブック」を公開。

事業コンプライアンス部会

サイバーセキュリティサービスの提供者が、ネットワーク社会、サービスを楽しむお客様、そしてサービス従事者として自らを守るために、適正なセキュリティサービス事業遂行の在り方について検討する。「サイバーセキュリティ業務における倫理行動宣言」を公開。

標準化部会

- ・電子署名WG 欧州電気通信標準化機構/電子署名基盤技術委員会(ETSI/TC ESI) 会議などの国際標準化会議への参加を通じて、署名関連システムの調査、検討、普及啓発などを実施。
- ・デジタルアイデンティティWG 読み物「クレデンシャルの歴史」を公開
- ・日本ISMSユーザグループ 2019年セミナー資料公開

教育部会

新たなグローバル標準へ対応させたSecBoK2019を公開。スキル中心であった内容を拡張し何を実施(達成)できるのかというタスク視点にも注目し、スキル中心からタスクおよびロールとの連携を強化した内容とした。

西日本支部

- ・中小企業のためのSecurity by Design WG 中小企業において目指すセキュリティデザインを公開予定

情報セキュリティ教育事業者連絡会 (ISEPA)

「セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化における概念検証報告書～トライアル結果の考察～」、「セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化施策の考察～プラス・セキュリティ人材の可視化に向けて～<1.0版>」、「キャリアパスグランドデザインの考察」、「セキュリティ業務を担う人材の現状調査報告書」を公開。



日本セキュリティオペレーション事業者協議会 (ISOG-J)

「ペネトレーションテストについて」、「セキュリティ対応組織(SOC,CSIRT)強化に向けたサイバーセキュリティ情報共有の「5W1H」v2.0」を公開



■ JNSA発行書籍



2013年
「改訂版クラウド環境におけるアイデンティティ管理ガイドライン」
アイデンティティ管理WG[編]



2015年
組織で働く人間が引き起こす不正・事故をどう防ぐか
「内部不正対策14の論点」
組織で働く人間が引き起こす不正・事故対応ワーキンググループ[編]



2015年
「サイバーセキュリティ2020 脅威の近未来予測」
未来予測プロジェクト[編]

■ 緊急事態宣言解除後のセキュリティ・チェックリストのご案内

新型コロナウイルスの感染拡大及び緊急事態宣言の発令に伴い、多くの企業・組織でテレワークを実施していると思います。そのため、端末や外部記憶媒体を家に持って帰ったり、それまで許可していなかった私物端末の業務利用を一時的に許可したりして対応しているのではないのでしょうか。JNSA社会活動部会では、今後、社会活動が新型コロナウイルスと共存するという前提の中で、各企業・組織における働き方や、セキュリティ上で留意すべき点を、チェックリスト形式でまとめました。ぜひご活用ください。

https://www.jnsa.org/telework_support/telework_security/index.html